

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0101	実施計画	対象
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	道徳性・社会性の向上	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)
 小中学校児童生徒
 保護者
 教員

意図(対象をどのような状態にしたいのか)
 小中学生が悩みを話せる場所が設置され、心にゆとりが持てるようになっている。いじめ・不登校の児童生徒及び保護者に対する教員のカウンセリング能力が向上し、指導助言により児童生徒が健全に育成されている。

手段(事務事業の内容、やり方、手順)
 ・いじめ問題専門委員会(金城学院大学教授、弁護士、瀬戸旭医師会医師、臨床心理士、市社会福祉協議会)を設置し、いじめ問題に関わる調査研究や対策協議、いじめ重大事態が発生した場合の調査を行う。
 ・いじめ問題対策連絡協議会(小中学校、県中央児童・障害者相談センター、名古屋法務局、守山警察署、児童生徒の保護者、少年センター、市教育委員会)を設置し、関係機関が連携・協力する。
 ・いじめ・不登校対策委員会(教職員、家庭児童相談員、教育研究室、適応指導教室、少年センターで構成)を設置し、いじめ・不登校の実態把握及び指導支援事業を展開する。
 ・いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識をもつスクールソーシャルワーカーを各中学校区に1名配置し、児童生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援をする。
 ・いじめ不登校対策及び発達障がい等の諸問題に対応するため、心のアドバイザー4人を教育研究室に配置し、相談業務を実施する。
 ・小中学校における不登校の未然防止・早期対応策として、児童生徒が悩み等を気軽に話せる心の教室相談員を各小中学校に1人配置する。
 県派遣のスクールカウンセラーが各中学校に1人配置されている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 県スクールカウンセラーによる相談開設総時間	時間	1,251	1,253	1,248	1,354	
	B 市スクールソーシャルワーカーによる相談総日数	日	234.5	217.5	234	226.5	
	成果指標	C 「心の教室相談員」への相談件数・来客者数	件	27,813	23,394	25,000	19,224
		D いじめ不登校対策事業の延べ参加人数	人	548	546	550	586
事業費 計			14,642	13,791	15,389	14,961	
事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県	千円	800	800	800	800
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		13,842	12,991	14,589	14,161

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況) 「心の教室相談員」への相談件数・来客者数は、元年度実績と比較して4,170件減少している。 (原因) いじめ・不登校防止対策における、気軽に相談できる相談窓口としての「心の教室相談員」への相談・来客者が新型コロナウイルス感染拡大防止及び4~5月の学校休業の影響により減少となった。
--------	---	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	各中学校に配置しているスクールソーシャルワーカーの有効な活用を進めます。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

スクールソーシャルワーカーを活用し、いじめ・不登校等の対応支援を行った。

適応指導教室（つくしんぼ学級）運営事業

[252]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0102	実施計画
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	道徳性・社会性の向上	担当	教育委員会事務局 学校教育課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	不登校傾向の小中学児童生徒(1か月に7日以上休む児童生徒)	・心理的・情緒的な理由による不登校傾向の児童生徒を対象に適応指導教室(平日9:00~15:00 指導員3名)を運営し受け入れる。(場所:中央公民館1階) 教育相談、適応相談 適応指導、訪問指導 調査研究、啓発活動 情操教育やレクリエーション(遠足等)なども実施 ・適応指導教室の相談援助活動の一環として、保護者の派遣申請を受けて、校長が派遣申請をした不登校傾向の児童生徒に対し、相談員としてメンタルフレンド(予め市に登録された大学生等)を家庭に派遣する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
・児童生徒を集団生活への適応を促すため、学校への復帰を支援する体制が整っている。 ・児童生徒の社会的立ち直りを側面的に支援している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 通室児童生徒数	人	10	8	10	10
	B メンタルフレンド登録者数	人	8	5	8	4
成果指標	C 不登校傾向の児童生徒のうち適応指導教室に通っている児童生徒割合	%	9.5	6.5	10	7.0
	D メンタルフレンド派遣回数	回	159	65	160	49
事業費 計			601	390	696	210
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		601	390	696

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 通室を希望する児童生徒数に大きな変化はないが、不登校傾向の児童生徒数が増加している。 (原因) 医療機関との連携が必要なケースなど一人ひとりの事情が複雑になってきている。また、不登校に対する社会的関心の高まりが浸透してきていることも不登校児童生徒の増加要因の一つと考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

学校体育・部活動推進事業(小学校)

[249]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0201	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	児童	小学校の部活動に対し、必要に応じて技術的指導補助を行う外部講師を派遣する。 小学校の金管バンドに対し、専門的な技術指導力を備えた音楽講師を外部から派遣する(1校あたり2回派遣)。 H29.3に県が教職員の多忙化解消プランを策定したのをうけ、H29.4「適正な部活動の運営について」として、市としての部活動運営に係る基本理念、指導上の留意点、部活動取り組みの方針を各学校に通知した。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
児童がより部活動に興味を持って取り組み、部活動が活発化している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 外部講師派遣時間数	時間	266.5	221	297	155.5	
	B						
成果指標	C 部活動参加児童数の割合	%	82	70.7	82	49.4	
	D						
事業費 計			845	792	957	628	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	845	792	957	628

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 児童が部活動に興味を持って取り組んでいるが、R元年度実績と比較して部活動参加児童数の割合が21.3ポイント低下している。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止による部活動休止期間があったため。
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

学校体育・部活動推進事業(中学校)

[250]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0202	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	中学生 教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の部活動を指導する部活動指導員(会計年度任用職員)を配置する。(H30～:県補助対象事業) ・中学校の部活動に対し、必要に応じて技術指導補助を行う外部講師を派遣する。 ・中学校の吹奏楽部に対し、専門的な技術指導力を備えた音楽講師を外部から派遣する。(1校あたり4回派遣) ・部活動の支援として、大会参加費、自動車借上料等を支給する。 <p>H29.3に県が教職員の多忙化解消プランを策定したのをうけ、H29.4「適正な部活動の運営について」として、市としての部活動運営に係る基本理念、指導上の留意点、部活動取り組みの方針を各学校に通知した。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
生徒がより部活動に興味をもって取り組み、部活動が活発化している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 部活動指導員及び外部講師派遣時間数	時間	2,237	1,653	2,730	2,146	
	B 部活動への支援額	千円	6,514	7,149	5,218	2,094	
成果指標	C 部活動参加生徒数の割合	%	89	89.1	89	80.0	
	D 各種大会参加への費用支援率	%	100	100	100	100	
事業費 計			6,514	7,149	5,218	2,094	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	1,987	768		
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		4,527	6,381	5,218	2,094

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 多くの生徒が部活動に興味を持って取り組んでいるが、R元年度実績と比較して部活動参加生徒数の割合が9.1ポイント低下している。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止による部活動休止期間があったため。
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	教職員の多忙化解消に向けて、部活動指導員の有効活用を進めます。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	部活動指導員を有効活用し、教職員の多忙化解消の一助とした。		

児童健康安全事業(小学校)

[261]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0203	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	小学生	手段(事務事業の内容、やり方、手順) 各小学校に校医を指定し、健康事業に取り組む。 校医は内科医、耳鼻科医、歯科医、眼科医、薬剤師とする。 学校保健安全法第13条に基づき、結核(必要者のみ)、検尿(全学年)、心電図検査(小1、4)を行う。 学校の管理下における、負傷・障害・死亡等につき、保護者等に対し、災害共済給付を行う。 児童の健康の保持増進に関する調査研究を行い、児童の健全な発達に役立てる。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		
	小学生が健康で学校生活を送ることができている。 小学生の負傷等の傾向を調査し、負傷する児童の数を少なくして、児童の健康の保持増進となる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 検査参加人数	人	4,854	4,839	4,775	4,803	
	B						
成果指標	C 受診率	%	100	100	100	100	
	D 医療機関受診率	%	56	55.4	57	57.5	
事業費 計			41,148	41,062	41,438	40,341	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	41,148	41,062	41,438	40,341

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 学校保健安全法で規定する児童生徒の健康診断を実施することにより、児童の健康の保持増進を図ることができている。 治療勧告書(受診のおすすめ)を配布した児童が医療機関に受診した割合が2.1ポイント向上している。 (原因) 医療機関への受診に対する児童・保護者の意識が向上したと思われる。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

生徒健康安全事業(中学校)

[262]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0204	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	中学生	手段(事務事業の内容、やり方、手順) 各中学校に校医を指定し、健康事業に取り組む。 校医は内科医、耳鼻科医、歯科医、眼科医、薬剤師とする。 学校保健安全法第13条に基づき、結核(必要者のみ)、検尿(全学年)、心電図(中1)、貧血(全員)を行う。 学校の管理下における、負傷・障害・死亡等につき、保護者等に対し、災害共済給付を行う。 生徒の健康の保持増進に関する調査研究を行い、生徒の健全な発達に役立てる。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		
	中学生が健康で学校生活を送ることができている。 生徒の負傷等の傾向を調査し、負傷する生徒の数を少なくして、生徒の健康の保持増進となる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 検査参加人数	人	2,314	2,347	2,441	2,390	
	B						
成果指標	C 受診率	%	100	100	100	100	
	D 医療機関受診率	%	31	44.3	32	28.5	
事業費 計			17,705	17,779	18,620	17,011	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	17,705	17,779	18,620	17,011

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 学校保健安全法で規定する児童生徒の健康診断を実施することにより、生徒の健康の保持増進を図ることができているが、治療勧告書(受診のおすすめ)を配布した生徒の医療機関受診率が15.8ポイント低下している。 (原因) 医療機関への受診に対する生徒・保護者の意識の低下及び新型コロナウイルス感染症防止の影響もあると思われる。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が中程度	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

学校体育支援事業

[266]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0205	実施計画
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 学校教育課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	児童生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・市教委及び愛知県中小学校体育連盟尾張旭支所(通称「尾張旭市中小学校体育連盟」)が主催で行う小学校球技大会の入賞者に対してメダルを授与する。 ・小中学校の体育事業の運営を愛知県中小学校体育連盟尾張旭支所に委託する。 ・事業内容:球技大会の運営、中学校の部活動振興、中小学校体育連盟の振興等 ・愛知県中小学校体育連盟に負担金を支払う。 ・瀬戸市中小学校体育連盟と共催で中学校総合体育大会瀬戸・旭地区大会を実施し、その経費分担金を支払う。 令和元年度で尾張旭市中小学校体育連盟が主催で行う小学校陸上記録会終了
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
児童生徒の体力が向上している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 愛知県中小学校体育連盟尾張旭支所への委託事業メニュー数	数	3	3	3	3
	B 愛知県中小学校体育連盟会費等負担金	千円	609	671	672	132
成果指標	C 小学5年～中学3年で実施する体力テストで「体力章」を授与した児童生徒数	人	661	645	660	-
	D					
事業費 計			1,276	1,336	1,301	632
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,276	1,336	1,301

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 余地が中程度	新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、体力づくり推進事業が中止となり、体力テストの「体力章」授与もなかった。
--------	--	---

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

児童生徒健康安全事業

[236]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0206	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・就学時健康診断を実施する。 ・小学校2・4年生と中学校1年生を対象に年1回知能検査を実施する。 ・尾張旭市の小学校及び中学校における学校保健の研究、調査並びに普及充実に図るため、市学校保健会に学校保健事業を委託する。 ・学校保健診療結果通知負担金 瀬戸旭医師会 1,000,000円(H30に増額) 尾張旭市歯科医師会 500,000円(H30に増額)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
児童生徒が健康で学校生活を送ることができている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 学校保健会委託事業数	事業	4	4	4	4	
	B 学校保健会委託料	千円	650	650	650	459	
成果指標	C 学校保健会表彰者数	人	15	16	15	15	
	D よい歯の表彰者数	人	627	521	627	709	
事業費 計			5,131	4,321	4,668	4,143	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		765	5	100	
		オ 一般		4,366	4,316	4,568	4,143

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) よい歯の表彰者数がR元年度実績と比較して188人増加した。 (原因) 審査対象学年である小学校6年生及び中学校3年生のう歯がないことなどの審査基準を満たした児童生徒が増加したものと考えられる。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

学校給食センター事業

[1190]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0301	実施計画
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	学校教育における食育の推進	担当	教育委員会事務局 学校給食センター	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

事業目的と概要(02年度分)
 ・市内小中学校児童生徒
 ・学校給食センター
 ・市民(食育関連)
意図(対象をどのような状態にしたいのか)
 ・安全でおいしい給食を食べ健やかに成長している。
 ・市及び委託業者により適正に運営されている。
 ・健全な食生活を実践している。(食育関連)

手段(事務事業の内容、やり方、手順)
 安全で安心な学校給食を提供する。
 ・平成22年9月、学校給食センター稼働とともに調理業務等を民間委託開始(委託契約は8月から)
 ・平成30年8月1日から、公募型プロポーザルにより第3期の契約を締結
 ・民間企業の専門的な知識、技術を活用し、業務の効率化と経費の削減
 市の役割: 献立の作成、食材の購入、調理の指示及び確認
 委託業者の役割: 食材の管理、調理、配送、回収
 一般給食のほか、アレルギー対応給食を提供
 対象アレルギー: 卵、乳
 提供方法: 除去食及び代替食の提供
 食育を推進する。
 ・市民対象の講演会や給食試食会を開催
 ・委託業者と連携し、親子料理教室や給食センター探検学習等の食育事業を実施
 ・市内小中学校の児童生徒に人気のある定番メニューのレシピをホームページやSNSを使用して発信

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 調理した食数(年間給食回数)	食	1,352,893	1,250,041	1,360,000	1,281,009	
	B 調理したアレルギー対応給食数(卵、乳)	食	4,476	4,213	4,600	5,405	
	成果指標	C 残滓量	kg	50,193	44,132	50,000	38,291
		D アレルギー給食の提供率	%	100	100	100	100
事業費 計			467,399	447,744	494,600	468,365	
指標・事業費	財源内訳		千円				
		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		351,282	324,811	362,494	310,604
	オ 一般	116,117	122,933	132,106	157,761		

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標Cについては、H30実績とR元実績を比較すると13.2%向上している。 (原因) 新型コロナウイルス感染症拡大防止による学校休業のため、4月、5月は給食を中止していた要因もあるが、食べ残しが減るように、味付けの工夫や新しいメニューを加えるなどを行い、月平均300kg程減少している。 また、アレルギー対応給食は保護者、学校と連携を図り、確実に提供している。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	令和3年度からの給食費徴収システム運用開始に向けて、導入内容を検討します。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
給食費徴収システム運用開始に向けて教育行政課と連携し、令和3年度11月から運用開始予定。			

学校給食センター維持管理事業

[1222]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0302	実施計画	対象
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	学校教育における食育の推進	担当	教育委員会事務局 学校給食センター		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	学校給食センターの施設及び設置機器	安全で安心な学校給食を安定的に提供するため、施設や設備機器の監視点検及び修繕を実施する。 平成25年度から学校給食センター運営事業(21-0301)の施設維持管理部門として事業の区分を行い、その経費を移行した。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<主要事業内容> 施設、機器等修繕...不具合の発生した施設及び設備機器の修繕を実施 空調設備保守点検委託...空調設備の保守点検、調整、清掃等を実施 給湯設備保守点検委託...給湯設備の保守点検、調整、監督官庁への報告等を実施 昇降機保守点検委託...昇降機の保守点検、調整、監督官庁への報告等を実施 調理機器のオーバーホール、更新
	調理業務等が支障なく行えるよう適切に維持管理され、重大な事故等が発生せず、安全性が保持できている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 施設・設備・機器修繕件数	件	36	25	35	38	
	B 各種維持管理業務外部委託金額	千円	10,956	11,508	12,420	11,874	
成果指標	C 機械設備の重大な不具合発生件数	件	0	0	0	0	
	D						
事業費 計			74,652	71,454	68,915	68,584	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	74,652	71,454	68,915	68,584

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 なし	適切な維持管理がされており、機械設備の重大な不具合は発生していない。
--------	---	------------------------------------

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	給食調理機器のオーバーホールを実施します。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
食器類洗浄機システムのオーバーホールを実施した。(令和2年9月完了)			

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0902	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育政策課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	尾張旭市立中学校の第3学年在校生	オーストラリアのヴィクトリア州ウィットルシー市へ中学生が9泊10日で訪問し、現地の中学校に体験入学・ホームステイを行う。 ・派遣団は、中学校3年生12人及び随行者2人 ・応募者から、作文と面接による1次選考を行い、選考された生徒の中から抽選で参加生徒を決定する。 ・事前に保護者を含む説明会及び参加者の研修を実施する。 ・出発日には激励の出発式を行う。 ・帰国後に報告会を行うとともに報告書を作成する。 ・費用負担：保護者5割 市費5割
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	・参加生徒がホームステイや現地校への体験入学を通じ、外国の文化等に触れることにより、幅広い視野と国際感覚が育っている。 ・参加生徒の体験報告により、他の生徒も外国を身近なものとして興味をもっている。	H5年度に事業開始、H11年度からウィットルシーセカンダリーカレッジを研修先とした。 H29年度は中学生海外研修第25回目となり、市長が研修に同行した。 R元年度はR2年度の市制50周年記念事業の意見交換等のため、市長及び教育長が研修に同行した。 R2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため事業を中止した。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 生徒の研修日数	日	10	10	10	0	
	B 参加生徒数	人	12	12	12	0	
成果指標	C ホームステイをして、よかったと思う生徒割合	%	100	100	100	0	
	D 対象生徒に占める応募生徒の割合	%	6.7	7.6	8	5.4	
事業費 計			3,716	4,294	4,300		
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	3,716	4,294	4,300	

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が大きい</p>	<p>(状況) 活動指標、成果指標の実績なし。</p> <p>(原因) R2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため事業を中止したため。</p>
--------	--	---

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

就学児童・生徒調査事業

[286]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0903	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	就学児童・生徒	バッチ処理により学齢簿の作成。 就学児童・生徒の通知書の作成。 児童・生徒に係る異動の把握と学齢簿の作成。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
就学児童・生徒の確認及び異動を的確に把握することにより、迅速に就学通知及び学齢簿の作成等の就学事務ができています。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
指標・事業費	活動指標 A					
	活動指標 B					
	成果指標 C					
	成果指標 D					
事業費 計			928	937	951	941
財源内訳		千円				
ア 国						
イ 県						
ウ 地方債						
エ その他						
オ 一般			928	937	951	941

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	--	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

小学校入学・卒業報償事業

[288]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0904	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小学校1年生、6年生	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校1年生に入学式の日記念品として、帽子、防犯ブザー、ランドセルカバーを贈呈する。 ・小学校6年生に卒業式の日記念品として、英和辞典を贈呈する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
小学校への入学あるいは卒業をするときに、記念品を受け取るにより、新小学校教育の安全と、中学校での勉強の役に立っている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 入学式記念品の購入数	個	784	790	750	740	
	B 卒業式記念品の購入数	個	825	860	835	841	
成果指標	C 入学式記念品を受け取った児童の割合	%	100	100	100	100	
	D 卒業式記念品を受け取った児童の割合	%	100	100	100	100	
事業費 計			2,081	2,190	2,300	2,163	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	2,081	2,190	2,300	2,163

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 児童が入学記念品及び卒業記念品を適切に受け取ることができている。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

中学校卒業報償事業

[289]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0905	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	中学校3年生	中学校3年生に卒業式の日に記念品として、卒業証書ホルダーを贈呈する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
中学校を卒業することにより義務教育が終了し、卒業式を終え、その節目になるものとして記念品を受け取ることで卒業の喜びを深め、新生活で活用している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 記念品の購入数	個	780	795	795	814	
	B						
成果指標	C 記念品を受け取った生徒の割合	%	100	100	100	100	
	D						
事業費 計			312	302	350	305	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	312	302	350	305

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 生徒が卒業記念品を適切に受け取ることができている。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

学校指導事務

[294]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0908	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育政策課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> 学校 教職員 	<ul style="list-style-type: none"> 負担金 指導主事派遣にかかる負担金を愛知県との協議により負担 市の負担は、 平成27年度まで 1/2負担 平成28～30年度まで 1人目：1/2負担、2人目・3人目：2/3負担 平成31(令和元)年度～ 1人目：1/2負担、2人目：2/3負担、3人目：全額
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> 配置 指導主事3人を教育委員会事務局教育行政課へ配置 管理指導主事(1人)、教育行政課指導主事(2人) 定例会での指導伝達(校長会、教頭会、教務主任者会、校務主任者会)、その他随時指導
	学校運営が適正に行われている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 派遣指導主事の人数	人	3	3	3	3	
	B 定例会開催回数(校長会、教頭会、教務主任者会、校務主任者会)	回	37	36	36	37	
成果指標	C						
	D						
事業費 計			18,281	12,045	11,239	11,347	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	18,281	12,045	11,239	11,347

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-